

協発工業の温室効果ガス削減目標が 国内初自動車・輸送用機器のセクターで SBTイニシアチブの認定を取得

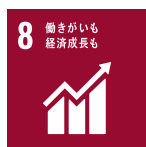
協発工業株式会社(以下、「当社」)が設定した温室効果ガスの削減目標が、国際的なイニシアチブである「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ(※1)」により科学的根拠に基づいた目標として認定されました。



認定された温室効果ガス削減目標

- スコープ1(※2)およびスコープ2(※3)について、2030年に2018年比で50%削減し、取り組みとして工場の使用電力の再エネ化を推進する。
- スコープ3(※4)については、排出量を測定して削減に取り組む。
- ▶認定された目標は、現在のプロセスで認定できる最も野心的な1.5°C水準で認定を取得

当社は企業活動を通じて、SDGs(※5)の以下の目標に貢献します。



※1 産業革命前から地球の気温上昇を2°C未満に抑えるため企業に科学的根拠に基づいた温室効果ガスの排出削減目標の設定し、排出量削減を推進することを目的にCDP、国連グローバル・コンパクト、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)の4団体が2015年に共同で設立。日本でも2018年以降、認定企業が急速に増加。小泉環境大臣は、認定企業数で世界一を目指すと言っている。

※2 直接的温室効果ガスの排出(当社では、営業車両の燃料が主な対象排出源)。

※3 電力、熱、蒸気の導入時の排出(当社では、購入電力による間接的排出が対象)。

※4 その他の間接排出(スコープ1およびスコープ2を除く、製品の製造・販売・消費とあらゆるバリューチェーンにおける温室効果ガスの排出)。

※5 Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標。17のゴール・169のターゲットで構成されている。